



太田川河川事務所

ゴギ
GoGi通信

No. 104



太田川



平成22年度完成に向けて推進中 柳瀬地区床上浸水対策特別緊急事業

太田川河川事務所では、平成17年9月の台風14号によって床上浸水および要援護者支援施設（病院、老人ホーム等）の浸水被害が沿川で発生した箇所を中心に、築堤等の改修事業に取り組んでいます。

事業の実施については、再度災害の防止を図るとともに、環境や生態系に十分配慮した整備を計画し、中・上流域の計18か所において、平成19年度より工事を進めております。

写真は柳瀬地区（広島市安佐北区可部町大野地先Ⅱ浸水家屋3戸、事業所5棟）における工事状況です。同地区では、太田川の下流に向かって左岸に総延長約540mの輪中堤を設けます（堤防新設にあわせて河原の掘削も実施）。

平成21年11月から本格的に工事に着手しており、平成22年度中に完成させる予定です。

昨年実施した「水生生物調査」の結果報告

太田川河川事務所の
ホームページでも公開

国土交通省では、昭和59年から、小・中学生や高校生を中心に一般の方々にも参加していた「水生生物による水質の簡易調査」を実施しています。

川の中、特に川底に住んでいる生物を調べることによって、その地点の水質の状況がわかります。このように川の環境を教え、汚れに敏感なものの中から目で

見ることができると全国に分布しているものを選定）と呼んでいます。

誰でも簡単にできて、高価な機材を必要とせず、川遊び感覚で楽しみながら調査できるので、子供たちには大人気です。川をより身近に感じ、河川愛護、水質浄化への関心を高めてもらえる機会にもなっています。

や中止も多かったのですが、11団体、約160人の参加をいただいて、下表の地点で調査を行いました。

水質は「I」きれいな「II」少しきたない「III」きたない「IV」大変きたないの四つの階級に分けて判定しています。

水生生物調査の結果は、太田川河川事務所のホームページでも公表しています。



河川名	調査地点名	調査地点地先名	調査月日	調査団体名等	参加人数	H20判定	H21判定
太田川	柴木川下流	広島県山県郡安芸太田町吉和郷	9月10日	町立戸河内中学校	24	I	I
	新轟橋	広島県山県郡安芸太田町上殿	7月16日	町立殿賀小学校 町立上殿小学校	14	I	I
	加計	広島県山県郡安芸太田町加計見入ヶ崎	9月4日	県立加計高校	29	I	I
	高山川下流	広島市安佐北区安佐町小河内沖原	8月3日	市立湯来中学校	12	I	I
	壬辰橋	広島市安佐北区安佐町毛木沖田	9月8日	太田川河川事務所	—	I	I
	太田川橋	広島市安佐南区佐東町八木細野土手外	9月8日	太田川河川事務所	—	I	I
	安佐大橋	広島市安佐南区川内4丁目	8月27日	県立祇園北高校	23	II	II
根谷川	新川橋	広島市安佐北区中島	9月8日	太田川河川事務所	—	II	II
三篠川	深川橋	広島市安佐北区深川2丁目	9月8日	太田川河川事務所	—	II	I
古川	第一古川	広島市安佐南区緑井6丁目	8月26日	太田川河川事務所	4	II	II
	第二古川	広島市安佐南区緑井6丁目	8月26日	太田川河川事務所	4	II	II
	大下	広島市安佐南区緑井1丁目	8月5日	市立東原中学校	15	II	II
	神田橋	広島市安佐南区中筋1丁目	8月5日	市立東原中学校	15	II	II
	松原橋	広島市安佐南区中筋1丁目	8月5日	市立東原中学校	15	II	II
小瀬川	小川津	山口県岩国市小川津	8月17日	大竹理科部会	8	I	I
	御堂原	広島県大竹市穂仁原	8月24日	市立穂仁原小学校	11	I	I
	両国橋	広島県大竹市木野	8月25日	市立木野小学校	19	I	I

子供たちが防災環境学習

広島市安佐南区の大町小学校で実施

太田川河川事務所では、広島西部山系（広島市、廿日市市、大竹市の一部）において進めている直轄砂防事業の一環として、土砂災害の恐ろしさや砂防事業の効果、被害を軽減するために必要なことなどを伝えることを目的として、出前講

座を行っていただきます。広島市内に位置する武田山周辺においても、安佐南区の大町地区などで砂防事業を進めているところですが、11月24日・25日の二日間、大町小学校6年生約120人を対象に、防災環境学習を出前講座として実施しました。一日目は室内で、土石流模型実験や3D土石流体験装置を用いて土砂災害やその対策に関する体験型学習を行うとともに、身近な森林を見ることが重要性やその楽しみ方についてお話をしました。二日目は地元ボランティアの方々の案内による武田山登山を行い、武田山の歴史や森林と自然環境との関わりについて学習しました。登山は朝から晴天に恵まれ、全員元気よくコースを歩くことができました。今回の学習を通じて土石流や砂防事業、山の歴史について楽しく学べたと児童の皆さんにも好評でした。



武田山山頂で砂防や歴史の話をしました

太田川生態工学研究会を開催

太田川放水路に豊かな自然環境を

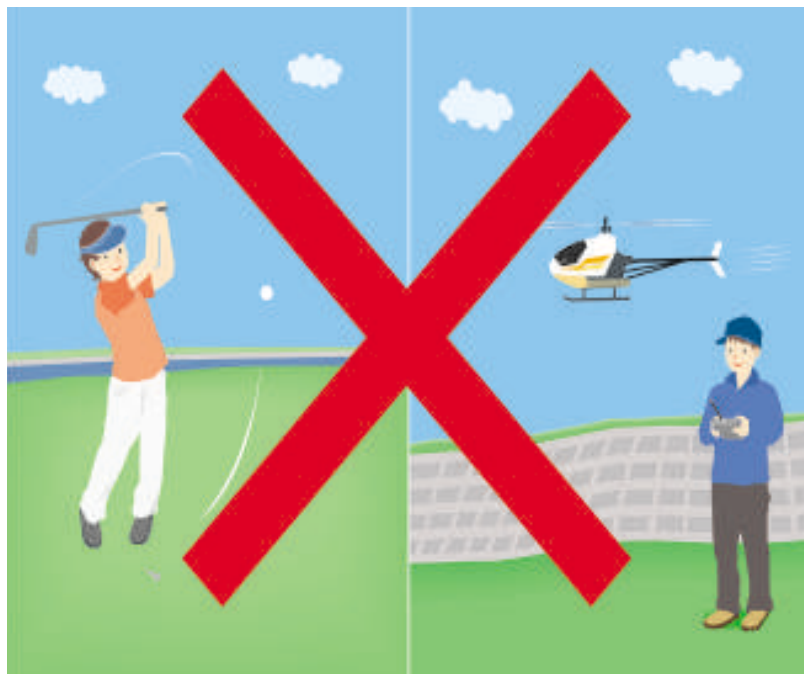
太田川放水路は昭和42年に完成した人工河川ですが、干満に伴う海水の出入りにより汽水域特有の自然が形成されています。「太田川生態工学研究会」は、放水路における生態系や自然環境の調査を行い、太田川放水路の環境や放水路が有する機能の実態を把握し、治水事業を進める上で生じると予想される影響を考察し、これらをまとめた河口域で河川事業を行う際の手引書を作成することを目的として、平成16年より研究を進めています。



本研究会では生態学と河川工学の研究者たちが手を組んで放水路内の水質や生物・植物等の調査検討を進めており、平成21年12月15日には太田川河川事務所会議室に7人の研究者が集まって、研究報告と討議を行いました。

河川敷はマナーを守って利用しましょう

ゴルフの練習やラジコン飛行機など危険な行為は禁止しています



河川の敷地は、散歩やピクニック、スポーツなどさまざまな目的をもって多くの方が利用されています。

河川の敷地は誰もが自由にご利用することができるところですが、利用方法によっては、河川を管理している国や地方自治体の許可が必要な場合もあります。

また、ゴルフの練習やラジコン飛行機、水上バイク等の危険走行、ゴミの不法投棄などの危険な行為や迷惑な行為は、ひとつ間違えれば大きな事故・環境の悪化につながりかねません。

河川敷地の利用にあたっては、マナーを守り、モラルをもって、多くの方が楽しく安全に使えるようご協力をお願いします。

「広島西部山系植生図鑑」その2 ヒメヤシャブシ



科名:カバノキ タイプ:落葉高木
花の時期 3~5月
実の時期 10~11月

おもに溪流沿いの明るい低木林で見られる樹木です。広島西部山系で見られるものは、主に山腹緑化用に植栽されたものから広がったもので別名「ハゲシバリ」とも呼ばれています。「ヤシャブシ(夜叉五倍子)」の名は、果実の表面がでこぼこして醜い夜叉(やしや)の姿に見えること、タンニンを含む虫こぶのことを五倍子(ふし)といい、ヒメヤシャブシの果実にもタンニンが含まれていることからきています。

高さ4~7mの落葉高木です。葉はふちに細かい鋸歯(きよし)があり互生します。また、樹皮には横長または丸い皮目がたくさんあります。

ホームページに「広島西部山系植生図鑑」を掲載しています

太田川河川事務所

検索

